

団 体 名	にのみや子ども自然塾
事 業 名 称	子どもたちの遊びの活動のための組織基盤強化
補 助 金 額	200,000円
現 場 確 認 日	平成28年6月19日（日）
出 席 委 員	月橋委員、山田委員



事業の概要

子どもたちののびのびとした遊びの環境づくりを目指す会の組織基盤を強化するために、備品の整備、ホームページによる発信力の向上、会員の研修を行う。

現場確認の内容

10時～11時30分「冒険あそび場」を、14時～15時「虫と遊ぼう」を見学させていただきました。

「冒険あそび場」には390名の参加者が木工、段ボール遊び、ロープ遊び、草花遊びなど、自由に好きな遊びを親子で楽しんでいました。

「虫と遊ぼう」にも65名の参加者が、日向、日陰でそれぞれ虫を採取し、虫の生態について楽しく学んでいました。

補助金は、木工用の道具や受付の机などの材料費に使用されていることを確認しました。参加者が多く、スタッフと参加者との見分けがつかないため、今後Tシャツを購入し、一目でスタッフが分かるように改善することもお話しいただきました。

出席委員のコメント

- ・自然の中で、のびのびと好奇心いっぱいの表情で遊んでいる子どもたちの姿に感動しました。
- ・ダンボールを使って、自分の部屋づくりをしていた女の子と男の子が自由に想像力を働かせて楽しんでいる様子、それを見守っているお母さん、ボランティアさんの姿にとっても好感を持ちました。子どもたちが自然の中で遊ぶことで色々なことを学び、人とのコミュニケーションを図ることで、人として成長していくのではないかと思います。
- ・活動現場である東大果樹園跡地の環境は昔よくあった「はらっぱ」を思わせる風景で大きな木が何本もあり、草原ありで子どもたちが安心して自然と触れ合う場所に最適かと思われます。今後も継続して利用できると良いと思います。
- ・代表者、会員の皆さん、そしてボランティアの方の熱意と協力体制がすばらしいと思いました。
- ・父親の参加もあり、すばらしいことだと思います。
- ・就学前の子どもが多く、講師の説明をどこまで理解できたのか疑問に思いました。
- ・子どもの遊びが主だったのかなと思いました。
- ・野原に入るときは、長そで、長ズボンを指定し、蚊や害虫から身を守るための策をお願いしたいです。

団 体 名	二宮災害ボランティアネットワーク
事 業 名 称	災害に強いまちづくりを推進する事業の構築 第2期
補 助 金 額	200,000円
現 場 確 認 日	平成28年8月21日(日)
出 席 委 員	村田委員



事業の概要

発災時における、災害ボランティアセンター開設・運営の具体策を検討する。平時における自助、地域防災の共助の啓発活動に力を入れ、関係機関との連携強化、人材育成を図る。



現場確認の内容

ラディアンミーティングルーム2で開催された、第3回災害ボランティア講演会を見学しました。

講演は、元平塚市博物館学芸員の森慎一先生が「地震と二宮の地盤」をテーマに、二宮町の各地域の地盤状況を地図や写真で2時間程説明しました。

当日は、定員80名に対して100名を超える聴講者が集まる中での講演となりました。

9月25日に、火山に関する講演会、12月に、講師との防災まち歩きを予定しています。

出席委員のコメント

- ・聴衆者の大半がご高齢者で、若者の姿が殆ど見えなかったことを残念に思います。
- ・地震に強い土地と液状化や沈下の危険がある土地のことなど皆興味深く聞き入っていました。森先生のお話を聞き、ご自宅がどのような土地に建っているのかを知り、安心され方、不安を感じられた方も沢山居られたと思います。
- ・今回のような講演会は非常に有意義で有ることは間違いないものと思いますが、ボランティアの団体が主催すべきことではなく、町が主体的に行うべきではないでしょうか。
- ・今回のような講演会は、ビデオ撮影し、より多くの方々にも視聴できるようにされるとよいと思います。
- ・会員募集は、単なる資料配布で終わるのでなく、時間を取って説明された方が良いと思います。また、団体活動を継続のため、賛助金募集も必要かと思います。

団 体 名	菜の花アートフェスティバル実行委員会
事 業 名 称	湘南二宮 菜の花アートフェスティバル
補 助 金 額	50,000円
現 場 確 認 日	平成29年2月12日(日)
出 席 委 員	大河原副委員長、高橋委員、野原委員、山岡委員



出席委員のコメント

事業の概要

菜の花ウォッチングと連動してのアートフェスティバルの開催。

駅周辺の空き店舗、営業店舗のスペース、個人アトリエで参加アーティストの作品展示販売を行うアートイベント。

町おこしのイベントとし、結果として町の活性化したい。

現場確認の内容

菜の花ウォッチング最終日に現地確認を行いました。

17会場を設け、36組のアート作品が出展され、木彫や漆工芸、布、皮革、アクセサリ作家の作品をはじめ、オリジナルの茶葉、湘南海岸の石にペイントした作品などが展示販売されていました。

また、やきいも、地場産みかんをつかったジャムの販売、似顔絵書き、音楽イベントなども開催されていました。

- ・第1回フェスティバルを実行委員会方式で開催されたことに敬意を表します。どの店舗でも力の入った作品を笑顔で説明していただきました。
- ・各ギャラリー個性があり、また活発に活動されていました。
- ・地元の作家さんを知るよい機会になると思います。
- ・店舗の空きスペース等をうまく活用されていて、駅から歩いて回れるコンパクトなエリアで開催されているのは、参加者には嬉しいことだと思います。
- ・空き店舗や空き地に店が並んで商店街のにぎわいにはよかったです。
- ・体験型の出店や特に似顔絵は安くてよかったです。
- ・南口にもう少し会場があると、より盛り上がりを感じました。
- ・北口エリアでは、車の通行が多く、場所によっては通行の妨げになる所がありましたので、改善された方が良くと思います。
- ・初めてのイベントなので、集客のため、菜の花ウォッチングに合わせて開催した方がよかったです。
- ・出店場所にはのぼりが立っていましたが目立たず、また店舗内には入りづらいと感じました。露店の方が見やすかったです。

団 体 名	二宮町総合型地域スポーツ（ラビッツ）クラブ設立準備委員会
事 業 名 称	二宮町総合型スポーツ（ラビッツ）クラブ設立準備委員会
補 助 金 額	50,000円
現 場 確 認 日	平成29年2月25日（土）
出 席 委 員	志賀委員



出席委員のコメント

事業の概要

スポーツ活動は、町民が健康で文化的な生活を送るために重要な役割を担っている。

そこで、気軽に楽しく体を動かすことができる様々な種目を設定し、スポーツ活動を始めのきっかけとなるようなクラブの設立を目指す。

準備委員会として、体験教室やイベントを開催する。

現場確認の内容

8月27日（日）に第1回ビーチボール大会、10月22日（土）に第1回幼児運動能力検査を開催されました。

また、5月から毎月2回土曜日にフットサル教室、11月から毎月1回バレー教室を開催している中で、今回はフットサル教室の現地確認を行いました。

幼児から大人まで30名以上が参加し、世代を超えた交流がされていました。

初心者の方が多く、スポーツをするきっかけづくりとなる活動となっていました。

今後の予定として、3月25日（土）に第2回ビーチボール大会、4月23日（日）に第2回幼児運動能力検査の開催を予定されています。

- ・現況は、事務局報告のとおりであり、幼児とその保護者、若者など、幅広い世代の方々がフットサルに「親しむ」という視点で運営されているように感じました。
- ・フットサル教室の現地確認だけでは「総合型地域スポーツクラブ」の意義を確認することはできませんでしたが、今後、クラブの存在意義を確立するためには、「教室」を目指すのではなく、今回、子どもと一緒に来られた保護者がフットサルに参加していたように、幅広い世代が様々なスポーツに参加し楽しめる機会を提供することに努める必要があります。
- ・主催者の方とも少しお話ができましたが、「我々は、裾野を広げることを主眼としており、もっと上手になりたいと思う方々は専門のクラブに行けば良い。」とおっしゃっていたので、今後も、「総合型地域スポーツクラブ」のコンセプトに沿った運営を行い、さらなる会員数の拡大や、運営組織の強化に繋げていただければと思います。